

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 市光工業株式会社
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市川 侑男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 堀切 良浩
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3443-7161

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	83,159	—	105	—	425	—	△12,042	—
20年3月期第3四半期	89,031	△0.6	1,458	△44.4	1,499	△51.5	442	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△125.53	—
20年3月期第3四半期	4.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	83,111	20,776	22.5	194.93		
20年3月期	97,673	32,285	30.8	313.39		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 18,698百万円 20年3月期 30,065百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	2.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	2.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,100	△16.5	△3,400	—	△3,400	—	△16,400	—	△170.95

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 96,036,851株 20年3月期 96,036,851株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 112,741株 20年3月期 99,885株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 95,932,231株 20年3月期第3四半期 95,944,956株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月6日に発表いたしました連結業績予想は、通期について修正しております。詳細につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報及び本日発表の「業績予想の修正、繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期第3四半期(3か月)の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	24,323	—	△780	—	△1,091	—	△12,377	—
20年3月期第3四半期	31,639	0.9	794	△10.8	687	△32.0	310	△81.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△129.03	—
20年3月期第3四半期	3.24	—

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年9月の米国大手証券会社の経営破綻以降深刻化した金融市場の混乱の影響を受けた世界的な株安、急激な円高等により企業収益が圧迫され、景気の減速が急速に強まる展開となりました。また、米国経済におきましても金融不安が深刻化する中で、大手自動車メーカーが経営危機に陥るなど景気が悪化しており、欧州、アジア経済においても、景気の減速傾向が明確化しています。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内自動車販売が伸び悩み、対新興国、資源国向けを中心とした輸出も世界的な景気後退の影響を受け減少したことから、国内生産台数は前年同期比2.6%の減少となりました。

このような環境の下、当社グループは、「品質第一の企業への変革」をスローガンとして業務改革に取り組み、開発、設計、生産に至る一連の業務において品質並びに合理化目標を達成することに主眼を置き、高収益体質の確立に努めてまいりました。しかしながら、大幅な自動車生産の落ち込みの影響を受け、第3四半期連結累計期間売上高は、83,159百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は105百万円（同92.8%減）、経常利益は425百万円（同71.7%減）となりました。また、投資有価証券評価損を計上したことや、繰延税金資産の取崩しを行ったことから四半期純損失12,042百万円（前年同期は四半期純利益442百万円）となりました。

当社グループ主力の自動車部品関連の売上高は81,151百万円（同6.5%減）、自動車関連以外の部門における売上高は2,007百万円（同9.4%減）となっております。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本におきましては、国内需要が伸び悩み、対新興国向けを中心とした輸出も世界的な景気減速の影響を受け減少したことから、売上高77,201百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は239百万円となりました。

②北米

北米におきましては、深刻化した金融不安の影響を受け、自動車生産台数が大幅に減少したことから、売上高は2,348百万円（前年同期比33.8%減）、営業損失は139百万円となりました。

③アジア

アジアにつきましては、世界的な景気後退の影響を受け自動車生産台数が減少したことから、売上高は3,609百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は396百万円となりました。

なお、前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は83,111百万円となり、前連結会計年度末比14,562百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産の減少6,481百万円、固定資産の減少8,080百万円、流動負債の減少6,839百万円であります。また、純資産は20,776百万円となり、自己資本比率は22.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は10,906百万円となり、前連結会計年度末比1,704百万円の減少となりました。

営業活動により使用した資金は税金等調整前四半期純損失4,216百万円、減価償却費3,469百万円、投資有価証券評価損4,236百万円、仕入債務の減少5,256百万円等により2,552百万円となりました。

投資活動により使用した資金は有形固定資産の取得による支出5,122百万円、有形固定資産の売却による収入3,805百万円等により1,537百万円となりました。

財務活動により獲得した資金は長期借入れによる収入6,696百万円、長期借入金の返済による支出4,073百万円等により2,201百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国の経済情勢は、世界的な金融危機が深刻化する中で实体经济への下押し圧力が強まっており、景気悪化局面にあります。また、国内外における自動車生産の大幅な減少の影響により、自動車部品業界を取り巻く状況も未曾有の厳しさとなっております。

このような状況のもと、当社グループの業績にも多大な悪影響が発生し、加えて株式市場の低迷による投資有価証券評価損を計上したことや、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる繰延税金資産の取崩しを行ったことにより、業績予想を下方修正しております。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断している見通しであります。今後の自動車生産の動向は依然として不透明であり、世界経済の低迷の長期化や為替・株式相場の動向など、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されますので、実際の業績は、現時点の業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、持分法の適用の異動状況は、以下の通りであります。

持分法 新規 1社（社名 無錫光生科技有限公司）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生の状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間案分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ153百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は153百万円増加しております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。

これによる、損益に与える影響はありません。

4. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,752	13,440
受取手形及び売掛金	20,011	22,001
有価証券	86	89
商品及び製品	4,303	4,243
仕掛品	1,138	1,084
原材料及び貯蔵品	2,765	2,855
繰延税金資産	34	2,004
その他	4,758	5,621
貸倒引当金	△29	△36
流動資産合計	44,822	51,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,676	9,033
機械装置及び運搬具（純額）	7,525	8,348
工具、器具及び備品（純額）	2,082	2,959
土地	6,133	6,181
リース資産（純額）	2,373	—
建設仮勘定	2,886	2,960
有形固定資産合計	29,678	29,482
無形固定資産	267	234
投資その他の資産		
投資有価証券	4,446	6,477
繰延税金資産	269	6,663
その他	3,652	3,537
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	8,344	16,653
固定資産合計	38,289	46,370
資産合計	83,111	97,673

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,679	21,651
短期借入金	3,520	3,275
1年内償還予定の社債	80	80
1年内返済予定の長期借入金	5,689	5,582
未払法人税等	81	308
未払費用	1,981	3,375
製品保証引当金	490	2,316
役員賞与引当金	4	55
その他	4,378	3,100
流動負債合計	32,906	39,746
固定負債		
社債	60	100
長期借入金	19,098	16,894
退職給付引当金	8,084	7,999
役員退職慰労引当金	18	248
負ののれん	6	8
その他	2,160	392
固定負債合計	29,428	25,642
負債合計	62,334	65,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	7,840	7,840
利益剰余金	4,253	16,315
自己株式	△28	△26
株主資本合計	20,995	33,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△313	△1,415
為替換算調整勘定	△1,982	△1,579
評価・換算差額等合計	△2,296	△2,994
少数株主持分	2,077	2,219
純資産合計	20,776	32,285
負債純資産合計	83,111	97,673

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	83,159
売上原価	72,080
売上総利益	11,078
販売費及び一般管理費	10,973
営業利益	105
営業外収益	
受取利息	96
受取配当金	140
固定資産賃貸料	298
持分法による投資利益	157
受取技術料	315
その他	301
営業外収益合計	1,309
営業外費用	
支払利息	375
為替差損	463
その他	150
営業外費用合計	989
経常利益	425
特別利益	
固定資産売却益	27
貸倒引当金戻入額	13
その他	9
特別利益合計	50
特別損失	
固定資産処分損	132
投資有価証券評価損	4,236
製品保証損失	312
その他	11
特別損失合計	4,692
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,216
法人税等	7,802
少数株主利益	23
四半期純損失(△)	△12,042

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成20年12月31日)

売上高	24,323
売上原価	21,570
売上総利益	2,752
販売費及び一般管理費	3,533
営業損失(△)	△780
営業外収益	
受取利息	23
受取配当金	50
固定資産賃貸料	99
持分法による投資利益	47
その他	115
営業外収益合計	337
営業外費用	
支払利息	119
為替差損	477
その他	50
営業外費用合計	648
経常損失(△)	△1,091
特別利益	
固定資産売却益	3
貸倒引当金戻入額	5
その他	0
特別利益合計	8
特別損失	
固定資産処分損	20
投資有価証券評価損	4,150
その他	0
特別損失合計	4,172
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,254
法人税等	7,238
少数株主損失(△)	△115
四半期純損失(△)	△12,377

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,216
減価償却費	3,469
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,825
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	82
受取利息及び受取配当金	△236
支払利息	375
為替差損益 (△は益)	21
持分法による投資損益 (△は益)	△157
有形固定資産売却損益 (△は益)	101
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,236
売上債権の増減額 (△は増加)	1,866
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△65
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,256
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△749
その他	287
小計	△2,075
利息及び配当金の受取額	236
利息の支払額	△375
法人税等の支払額	△337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△716
定期預金の払戻による収入	700
有価証券の取得による支出	△67
有価証券の売却による収入	67
有形固定資産の取得による支出	△5,122
有形固定資産の売却による収入	3,805
投資有価証券の取得による支出	△16
貸付金の回収による収入	14
その他	△202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,537

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	445
長期借入れによる収入	6,696
長期借入金の返済による支出	△4,073
社債の償還による支出	△40
自己株式の取得による支出	△2
配当金の支払額	△479
少数株主への配当金の支払額	△13
リース債務の返済による支出	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,064
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	360
現金及び現金同等物の期首残高	12,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,906

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

自動車部品製造販売業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	23,248	380	694	24,323	—	24,323
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	145	21	19	186	△186	—
計	23,394	401	714	24,509	△186	24,323
営業利益又は営業損失(△)	△651	△65	△86	△803	22	△780

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	77,201	2,348	3,609	83,159	—	83,159
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	611	100	140	852	△852	—
計	77,812	2,448	3,749	84,011	△852	83,159
営業利益又は営業損失(△)	△239	△139	396	17	88	105

〔海外売上高〕

当第3半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	527	1,607	2,135
II 連結売上高(百万円)	—	—	24,323
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	2.2	6.6	8.8

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,187	6,791	9,979
II 連結売上高(百万円)	—	—	83,159
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	3.8	8.2	12.0

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	89,031
II 売上原価	76,444
売上総利益	12,586
III 販売費及び一般管理費	11,128
営業利益	1,458
IV 営業外収益	1,056
1. 受取利息及び配当金	264
2. ロイヤリティ及び技術支援料	214
3. その他の営業外収益	578
V 営業外費用	1,015
1. 支払利息	316
2. 為替差損	362
3. その他の営業外費用	335
経常利益	1,499
VI 特別利益	80
1. 固定資産処分益	51
2. 投資有価証券売却益	1
3. その他の特別利益	27
VII 特別損失	291
1. 固定資産処分損	273
2. その他の特別損失	18
税金等調整前四半期純利益	1,288
税金費用	673
少数株主持分損益	172
四半期純利益	442

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,288
減価償却費	3,284
貸倒引当金の減少額	△23
製品保証引当金の減少額	△3,506
退職給付・役員退任慰労金の増加額	378
受取利息及び受取配当金	△264
支払利息	316
持分法による投資損失	161
投資有価証券売却益	△1
有形固定資産処分損益	222
売上債権の減少額	1,130
たな卸資産の増加額	△320
未収入金他の減少額	491
仕入債務の減少額	△1,387
未払費用他の減少額	△1,096
その他	90
小計	764
利息及び配当金の受取額	262
利息の支払額	△316
法人税等の支払額	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	254
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入れによる支出	△931
定期預金の払戻しによる収入	850
有形固定資産の取得による支出	△7,691
有形固定資産の売却による収入	4,781
投資有価証券の取得による支出	△110
投資有価証券の売却による収入	1
長期預り金の返済による支出	△1,422
その他	189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,333
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△774
長期借入れによる収入	7,916
長期借入金の返済による支出	△3,578
配当金の支払額	△575
その他	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,930
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△41
V 現金及び現金同等物の減少額	△1,190
VI 現金及び現金同等物の期首残高	13,790
VII 現金及び現金同等物の期末残高	12,600

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

当社グループは自動車用照明器具、部品の製造販売を主たる事業とした専門メーカーですが、一セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合が、何れも90%超となっております。又、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがないため、その記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	82,622	3,598	4,190	90,411	△1,379	89,031
営業費用	81,607	3,811	3,664	89,082	△1,509	87,572
営業利益又は営業損失(△)	1,015	△212	526	1,328	129	1,458